

2次元レーザー変位計による3D計測と凹凸文字認識

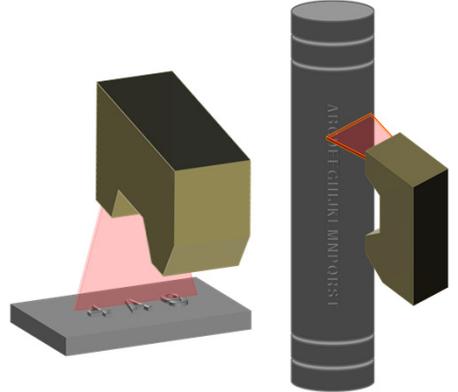
～こんなことができれば～



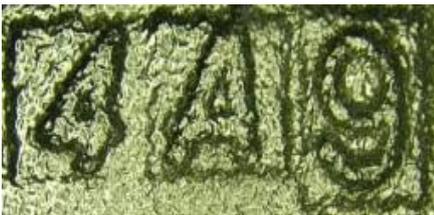
- ・文字の周囲に突起物があるけど影響されずにOCRができれば...
- ・製造ラインで使用したいので非接触で据え置き型の装置が欲しい。



「2次元レーザー変位計を用いた3D計測技術」と「凹凸文字認識技術」の組み合わせで解決できます



- ① 鋳造品は、背景と鋳出し文字が同色で、どちらも鋳肌のため、文字だけを抽出することが非常に難しい。
- ② 文字を抽出する2値化処理の際、鋳肌の微かな凹凸がノイズ成分のように画像に現れてしまい、文字の分離に悪影響を及ぼす。



(一般的な光学系による撮影画像)



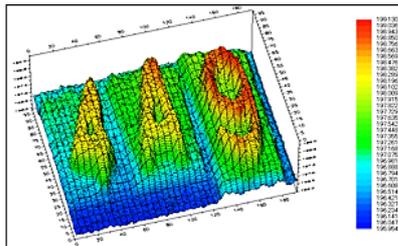
(2値化処理画像)

[これに対し]

- ① レーザー変位計は、対象物表面の変位を計測する為、鋳出し文字の凹凸を顕著に計測できるため、文字のみの抽出が安定して可能。



(2次元レーザー変位計によるスキャン)

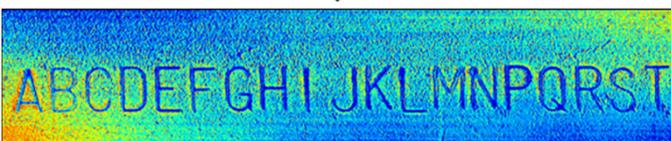
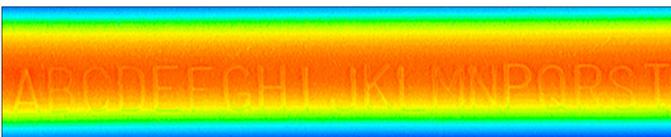


(3Dデータ化)



(グレースケール画像化)

- ② 対象物が円筒形で表面が湾曲していても、湾曲補正を施すことにより、正確に文字の凹凸情報を抽出することができる。



- ③ 凹凸情報を画像化しているため、文字の高さ(深さ)を計測することも可能。

八光オートメーション(株)

TEL: 092-611-5751

FAX: 092-611-5747

URL: <http://www.hacmat.co.jp/>